

(2021年4月1日設立)

一般社団法人展示映像総合アーカイブセンター
〒810-0041 福岡市中央区大名 1-14-28-403
TEL.090-1878-0804
e-mail : wakiyama.shinji@kyudai.jp

press release

国内初: 特殊仕様のイベント映像を記録・保存する 展示映像総合アーカイブセンターを福岡に開設します

<概要>

展示映像とは博覧会や展示会等のイベントや博物館、テーマパーク等のために制作・上映された特殊な映像の総称です。展示映像の多くは上映期間が終了しても保存されることがほとんどなく、いつしか破棄されたり散逸してしまうという現状にあります。時代の最先端の映像であり最高のスタッフと技術をもってつくられた希少映像を将来に向けて残すために、2021年4月1日、わが国で初となる展示映像総合アーカイブセンターが一般社団法人として福岡でスタートします。

1. 背景と目的

映画は発明された初期のものから今日のデジタル作品まで世界中で保存されています。日本でも国立映画アーカイブ等に永年にわたって残されています。しかし博覧会や博物館、各種イベント等のために制作された展示映像は上映終了後に保存されることはほとんどなく、周辺資料についてもその存在の有無はほとんどわかっていません。撮影や上映の関連機材もすでに多くが廃棄されており歴史資料自体が消滅しつつあります。これらを将来の制作者や研究者のために記録・保存することが本アーカイブセンターの目的です。

2. センターの活動内容

本センターの前身は、2009年から九州大学芸術工学研究院ですすめていた「展示映像総合アーカイブプロジェクト」です。すでに多くの制作会社や研究者の協力を得て展示映像のフィルム、デジタルデータ等が集まっています。これを引き継ぎ、展示映像に関する調査、作品データや資料の収集、保存、権利関係の整理、修復、デジタル化等をおこない、可能な範囲で再現あるいは疑似的な視聴ができるよう残していきます。別紙記載は現在までに保存している作品の一部です。展示映像の保存は困難とされるなかにあって、すでに複数の作品はデジタル化され、再現可能な状態にあります。センターはこのプロジェクトの推進母体です。

3. 本組織の活動意義

映画は世界標準となる技術仕様があります。それはフィルムの時代から今日のデジタルに移行しても同様です。しかしながら展示映像は多くが特別仕様の「一点もの」であるため作品ごとに上映システムが異なっています。さらに上映空間、特殊音響、スクリーンの形状やモニターの数、照明効果、ライブの演奏とのコラボなどで構成されることもあり保存の制約が非常に多い映像です。したがって映像・音響のコンテンツだけでなくこれらの「周辺情報」も含めて、総合的な映像コンテンツとして残す必要があるのです。本センターの資料は過去の展示映像をひも解くことのできる国内で唯一のアーカイブとなるでしょう。現在、作品の一部は東京や大阪に散在しています。周知の大災害を想定したときにこの福岡で作品の複製あるいはデジタルデータ等を保存することは、映像遺産の消滅を回避する危機管理の上からも意味があることと考えます。

4. 今後の展開

展示映像の廃棄と散逸を一刻も早く防ぐために、可能な限り収集することが喫緊の課題です。また今後も展示映像作品の制作は継続されると考えられますが、記録や保存の指針（マニュアル）を策定し、映像制作会社やイベント主催者への協力要請を行っていきます。同時代の最高の技術、表現、スタッフを擁した特殊映像が制作された事実を将来に向けて残し続ける意義を多くの関係者と共有していきます。

<参考資料>

アーカイブされている展示映像作品の例

- (1) 『日本と日本人』日本万国博覧会(1970)日本館上映8面マルチ映像で市川崑監督作品。2013年6月東京都内にてフィルム原版を発見(現在原版は東宝にて保管)。いまだ音声原版は見つからず。8面合成版。
- (2) 『鉄と稲』つくば科学万博(1985)歴史館上映作品。スライド原版ならびに上映プリントの大半、大型映像70mm8pの縮小版35mm4p、上映記録映像、上映会場記録写真等。
- (3) 『未来への挑戦～渋沢栄一物語～』さいたま博覧会(1988)渋沢栄一館3面マルチ映像
- (4) 『新しい北海道』北海道開拓記念館(1992)6面マルチ映像
- (5) 『左門と一緒に』千歳サケのふるさと館3面マルチ映像
- (6) 『JL002 東京～サンフランシスコ』科学技術館(1970年代)9面サークルビジョン
その他多数の展示映像映像作品と資料



合成版保存(DVD等)：『TOKIを探せ～新潟ふれあいのたび～』8面マルチ映像、新潟ふるさと村／『さいふまいり』3面マルチ映像、大宰府天満宮展示館／『近畿の森』5面マルチ映像、大阪花の万博いちょう館／『流～STREAM～』3面マルチ映像、ルイジアナ国際河川博覧会(1882)日本館／その他

スプリットスクリーン作品(DVD等)：『Multiple Man』カナダ国立映画庁(1969)／『View From The People Wall』New York World's Fair1965／『In the Labyrinth』カナダ国立映画庁(1967)／『House of Science』C&R.Eames(1962)／『Goods』C&R.Eames(1981)／その他

【お問い合わせ】

一般社団法人展示映像総合アーカイブセンター
代表理事 九州大学名誉教授 脇山真治
電話 090-1878-0804
e-mail: wakiyama.shinji@kyudai.jp